



富士市立吉原第二中学校 令和5年度 3月 学校だより

希 望 ヶ 丘



○ 卒業証書授与式

第75回卒業証書授与式(卒業式)が、3月19日(火)に開催されます。今年度の卒業式は、全校生徒が参加しての儀式的行事として復活いたします。

吉原二中にとっては、4年ぶりのこととなります。コロナ禍に小学校を卒業した吉原二中の生徒たちも、若い先生方にとっても初めてのことだと思います。(全校生徒が参加するのに、何か意味があるの?)と思われた方もいるのかもしれませんがね。しかし、学校の教育活動にとっては重要な意味があります。

このことは「学習指導要領」の中に書かれています。

卒業式の目的は、「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機づけとなるようにすること」。

さらに「儀式的行事は、一般的に全校の生徒、教職員が一堂に会して行う教育活動であり、・・・」と続きます。

これまでも生徒たちには、「儀式のときは制服で参加」とか、「身だしなみをしっかりしましょう」といった話をしてきました。厳粛で清新な気分を味わうために、雰囲気作りをしようということなのです。

そして、卒業式は、一般的に全校体制で祝福する教育活動であるとされています。例外的に、非常事態宣言など、不可能な状況もあります。全校生徒数が多すぎて体育館に入りきらないといった大規模校もあるようですが、本校には立派な体育館があります。

今年度の第75回卒業式は、コロナの緊急事態宣言期を乗り越えて、義務教育の集大成である中学校の卒業証書授与式を、通常に戻すことができた記念の式にもなります。



【生徒のみなさんへ】

3年生のみなさん、卒業式は中学校生活3年間、そして義務教育9年間の集大成の儀式です。義務教育中で最も大切な儀式です。この日にしか伝えられないこともたくさんあります。是非、成長した姿を保護者のみなさんに見ていただきましょう。そして、後輩たちに伝えるべきことを後ろ姿で示してください。保護者や後輩、来賓の皆様、そして教職員一同が心から祝福し、見守っています。

下級生のみなさん、3年生の晴れ舞台です。厳粛で清新な雰囲気作りにも協力してください。そして、3年生の姿を目に焼き付けて、吉原二中魂を引き継いでいきましょう。

○ グランドデザイン・アンケート

令和6年度のグランドデザインの作成にあたり、アンケートの回答ありがとうございました。吉原第二中学校の生徒に（このような人に成長して欲しい）と願う姿を皆様からご回答いただきました。その中でも投票の多かった2つの姿は、圧倒的な得票数で群を抜いていました。それが、

- 1、相手を思いやり感謝する優しい人
- 2、自分で考え判断し、主体的に行動する人

の2つでした。これが吉原第二中学区の皆様の生徒に望む姿、願いなのだと思います。来年度のグランドデザインの「保護者・地域が願う姿」のところに反映させていただきます。ありがとうございました。

○あれは奇跡ではなく、「釜石の必然」

2011年の東日本大震災の時、鶴住居小学校と釜石東中学校にいた児童・生徒約570人が全員無事に避難したことで「釜石の奇跡」として話題になりました。しかも、小中学生たちは「津波が来るぞ、逃げるぞ！」と周囲に知らせながら、保育園児のベビーカーを押し、高齢者の手を引いて高台に向かって走り続け、全員が無事に避難したのです。

当時、津波にのみ込まれる東北の状況をテレビで見ていた私たちにとっては、まさに「奇跡」と称されるのにふさわしい事例だと感じました。しかし、当時を振り返り、あの時の子供たちはこのような話をしているそうです。「常識ではあり得ないことが起きた訳ではありません。津波は絶対に来ると教えられて育ってきました。避難訓練を何度も繰り返し、その通りに体が動いただけです。私たちにとっては「釜石の奇跡」ではなく、「釜石の必然」です。防災訓練を「自分事」として、真剣に取り組んできた成果なのですね。

○防災メールの訓練を3月に実施

被災したとき一番知りたい情報は、お互いの安否だそうです。東日本大震災では、避難所には、家族や仲間に無事を知らせるメッセージや、行方不明者の家族の特徴を書いた尋ね人の紙が貼られ、被災した人々は何らかの情報を得ようと手を尽くしたそうです。防災伝言ダイヤルなどがありますが、能登半島地震の時にはSNSが有効だったそうです。



想定されている東南海地震では、実際にSNSも使用できる状態ではないかもしれませんが、いろいろな方法を知り、あらゆる手段で安否確認をすることや、そのための訓練も必要となってきます。被災時には学校は避難所運営を行っており、情報の中心地となります。学校に安否情報が入ることは重要となります。

本校教職員は、2月にマチコミで震度6を想定した地震が発生したとして、安否状況を回答する防災メールの送信訓練を行いました。これは教職員だけで行ってもあまり意味がなく、保護者や地域の皆様など学校に係る皆さんを巻き込んで訓練する必要があります。卒業シーズンではありますが、3月中に一度、防災メールの訓練を実施したいと思います。メールが届いた際は、ご協力お願いいたします。